

施策評価シート

評価年度	平成28年度	事業実施年度	平成27年度	施策主管次長名	教育部次長 鈴木 正憲	
施策番号	59	施策名	生涯スポーツができ、健康で元気なまち		総合計画掲載頁	76
関係課名	教育行政課、スポーツ課					

1. 施策の概要

施策の目的	意 図	日常的にスポーツをしてもらう	対象指標名	単位	H26実績	H27実績	H28見込	H29見込	H30見込	H31見込
			① 人口	人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744
			② 15歳以上人口	人	49,436	50,125	50,571	51,043	51,454	51,945
			③							
成果指標名	① 市民一人当たりのスポーツ施設利用回数	② 総合型地域スポーツクラブ登録者	③ 学校開放施設利用回数	④ スポーツ実施率(週1回以上)						

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28見込	H29見込	H30見込	H31見込
①	市民一人当たりのスポーツ施設利用回数	回	5.37	5.63	5.08	5.30	5.53	5.50	5.75
指標設定の考え方と把握方法	スポーツ施設利用者数/人口で算出し、市民の運動頻度を把握するもので、施設は都市公園施設と社会体育施設をスポーツ課で、地区コミュニティ広場は協働推進課で把握								
②	総合型地域スポーツクラブ登録者	人	1,573	1,652	1,615	1,696	1,781	1,870	1,963
指標設定の考え方と把握方法	なかよしクラブ、三好さんさんスポーツクラブのレクリエーションスポーツを主とした活動状況を把握するもので、その登録者数はスポーツ課で把握(平成28年度からはきたよし地区のスポーツクラブを含める)								
③	市民一人当たりの学校開放施設利用回数	回	2.47	2.59	2.88	3.00	3.13	3.12	3.25
指標設定の考え方と把握方法	学校開放施設利用者/人口で算出し、市民の学校施設での運動頻度を把握するもので、スポーツ課、学校教育課、教育行政課で把握								
④	スポーツ実施率(週1回以上)	%	51.9	53.0	47.7	51	54	57	57
指標設定の考え方と把握方法	市民の運動状況を「スポーツ活動に関するアンケート調査」によりスポーツ課で把握								

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	スポーツは健康、競技、青少年健全育成、交流など多様な活動に活かされ、スポーツを生活の一部とすることで人生を豊かにし、生活の質の向上と健康でゆとりある生活を送る。			
	行政	年代に応じたスポーツライフを充実させる施設の整備に努め、スポーツイベント・教室を開催し、スポーツ活動のきっかけの提供と仲間作り(コミュニティ)ができる組織・団体の育成を図る。			
達成度評価	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> イベント数は、刈谷市9事業、日進市5事業、東郷町3事業、みよし市11事業で他市と比較し多い状況にある。 スポーツ教室の数は、刈谷市9教室、日進市2教室、東郷町2教室、みよし市12教室で他市と比較し多い状況にある。 総合型地域スポーツクラブの数は、刈谷市6クラブ、日進市1クラブ、東郷町1クラブ、みよし市2クラブで刈谷市に次ぐ数である。 学校開放施設数は、刈谷市21施設、日進市17施設、東郷町10施設、みよし市16施設であり、他市と比較して同等である。 			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の利用回数は、H25年度5.20回、H26年度5.37回、H27年度5.08回と横ばいから減少状況にある。 総合型地域スポーツクラブ登録者数は、H25年度1,567人、H26年度1,573人、H27年度1,615人と増加傾向にある。 学校開放施設利用回数は、H25年度2.43回、H26年度2.47回、H27年度2.88回と増加傾向にある。 スポーツ実施率(週1回以上)は、H25年度51.3%、H26年度51.9%、H27年度47.7%と微増から減少状況にある。 			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ実施率(週1回以上)H27年度は、47.7%であるが、国の「スポーツ立国戦略」の成人の目標65%を現状では当市は大きく下回っている。 実施率の向上を図るためには、将来に向かって体育施設の環境改善とともに、市民ニーズに基づいた総合型スポーツクラブの更なる展開などによる「スポーツを行うきっかけづくり」が必要である。 				
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆大学と連携し、スポーツ推進と競技力向上を目指し指導者の指導力向上を図る。 ◆日々の点検補修による施設の維持管理に努め、安全で快適なスポーツ施設の供用に努める。 ◆出前教室・レクリエーションスポーツフェスタなどの生涯スポーツの推進事業の開催とともに、総合型地域スポーツクラブなどスポーツ団体への支援をし市民へ気軽にスポーツに親しむ機会を提供する。 <p>(29年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動、団体(スポーツ推進委員、体育協会、カヌー協会、ウォーキング協会等)への支援。 ・総合型地域スポーツクラブ(なかよしクラブ、三好さんさんスポーツクラブ、きたよし地区総合型地域スポーツクラブ)の育成、支援。 ・総合体育館トレーニングルームの改修に伴い、新たなトレーニング機器を導入し、健康推進課と連携し健康度評価事業の場として活用する。 ・2020年東京オリンピックに向けたカヌー競技キャンプ候補地等の検討。 				
市民意識	重要度	低い	満足度	高い	平成27年度市民アンケート調査による